

アメリカ合衆国
ジョー・バイデン大統領 閣下
駐日アメリカ合衆国大使館
ラーム・エマニュエル大使 閣下

抗 議 文

貴国が今月 14 日に、ネバダ州において臨界前核実験を実施したという報道に接しました。

昨年 5 月の G7 広島サミットにおいて、貴国を含む G7 各国首脳による「広島ビジョン」を発出し、核兵器のない世界の実現に向けた意思を示されました。それから 1 年を経ずして、今回貴国が行った核実験はこの意思に反するともいえる行為であり、強い憤りと悲しみを覚えます。

核実験は、いかなる理由があろうとも断じて許すことができません。核兵器廃絶を願う国際世論を無視し、人類史上最初の被爆地であるヒロシマの心を踏みにじるものであり、平和非核都市宣言を掲げる三次市民を代表して貴国の核実験に厳重に抗議します。

今後一切の核実験を中止するとともに、核兵器のない世界の実現に向け、全力を挙げて取り組まれるよう強く求めます。

令和 6（2024）年 5 月 20 日

日本国広島県三次市長 福岡 誠 志